

氏 名	井桁 雅臣		学 位	教育学士		
担当授業 科 目	絵画Ⅲ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	さっぽろ市民文芸	札幌市教育文化会館	2010 年	共著	
	その他	六花ファイル第3期収録作家 入選	六花文庫	2011 年		
	その他	六花ファイル第6期収録作家 入選	六花文庫	2016 年		
	その他	第21回道銀芸術文化奨励賞受賞	財団法人道銀文化財団	2012 年		美術部門（絵 画）

氏 名	磯貝 隆之		学 位	教育学士		
担当授業 科 目	[大学院] 障害者心理学特論， 病弱教育研究 [大 学] 知的障害教育Ⅱ， 特別支援教育実習事前指導					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	重度・重複障害児に対する医療 的ケアの教育的意義に関する一 考察	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要 第14号	2023年3月	共著	主にⅠ、Ⅱ担当
	論文	本道の知的障害教育における授 業改善に関する一考察	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要 第13号	2022年3月	共著	主にⅡ、Ⅲ担当
	論文	大学生における共生社会形成意 識の向上に関する一考察	北翔大学短期大学部 研究紀要 第61号	2023年3月	共著	主にⅢ担当
	論文	北海道の知的障害高等支援学校 における体育分野の領域の取り 扱いに関する現状と課題	北翔大学生涯スポーツ学 部研究紀要 第11号	2020年3月	共著	主にⅢ
	論文	北海道の知的障害教育における 授業改善のための提言	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第4号	2019年1月	共著	主にⅣ担当

氏 名	稲山 敬太		学 位	学士 (スポーツ教育学)		
担当授業科目	生涯スポーツ (水泳・水中運動)					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	コロナ禍における本学「スポルクラブ」の感染対策について：スポーツジムおよび総合型地域スポーツクラブの感染対策および再開事例から	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報 第11号	2021年3月	共著	
	指導歴	セントラルスポーツ株式会社 水泳レッスン指導 (2013年～現在)				
	指導歴	北翔大学スポルクラブ 水中プログラム指導 (2018年～現在)				
	指導歴	吉田学園北海道スポーツ専門学校 水泳実技講師 (2023年4月～現在)				

氏 名	井上 大樹		学 位	学士（行動科学） 修士（教育学）		
担当授業 科 目	教育原理					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	格差社会における家族の生活・ 子育て・教育と新たな困難	旬報社	2014 年 3 月	共著	IV章5 節「A 団 地の幼稚園に おける子育て 支援機能」を担 当
	著書	新版 教育課程論のフロンティ ア	晃陽書房	2018 年 9 月	共著	第4 章第3, 4 節 を担当
	著書	教職概論: 「包容的で質の高い教 育」のために (SDGs と学校教育)	学文社	2019 年 9 月	共著	第6 章「地域社 会と学校・教 員」を担当
	論文	子どもの理解を深める保育者養 成の実践的構想	北海道の臨床教育 学第2 号	2013 年 7 月	単著	
	論文	いじめ認知のずれに見る解決の 困難と課題	教師教育研究 第31 号	2017 年 3 月	単著	

氏 名	今井 敏勝		学 位	芸術学士		
担当授業科目	指揮法, 音楽科教育法Ⅰ, 音楽科教育法Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	～音楽表現の想像から創造～	自主出版	2020年3月	単著	
	著書	中学校・高等学校教職課程 音楽科教育法 (2012年改訂版)	教育芸術社	2012年2月	共著	
	論文	これからの音楽教育 「器楽・ピアノ・歌唱」を使用した音楽教育Ⅰ	北翔大学教育文化学部研究紀要 第4号	2019年1月	共著	
	論文	これからの音楽教育 「器楽・ピアノ」を使用した音楽教育Ⅱ	北翔大学教育文化学部研究紀要 第4号	2019年1月	共著	
	論文	想像性から創造性への教育 ～音楽によるアンサンブル教育の重要性～	北翔大学教育文化学部研究紀要 創刊号	2016年1月	単著	

氏 名	植田 俊		学 位	修士 (体育学)		
担当授業 科 目	スポーツ社会学					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	障害者スポーツにおけるつながりの生成:視覚障害者ランナーと伴走者を事例として	スポーツ社会学研究	2022 年 9 月	共	
	著書	移民・グローバリゼーション・ローカリゼーション:スポーツをめぐる越境現象からみえる制度・アイデンティティ・地域社会	杏林書院、『現代社会とスポーツの社会学』	2022 年 4 月	共	第 12 章を執筆
	論文	障害者スポーツの「面白さ」と空間の固有性—ブラインドマラソンを事例として—	東海大学国際文化学部紀要 (14)	2022 年 3 月	共	
	論文	ブラインドマラソンの社会学的研究 (その2) —ブラインドランナーの〈視覚〉の社会的構成—	北海道大学大学院教育学研究院紀要 (138)	2021 年 6 月	共	
	論文	ブラインドマラソンの社会学的研究 (その1) —伴走者からみたスポーツ実践の「意味」 —	東海大学国際文化学部紀要 (12)	2020 年 3 月	共	

氏 名	片寄 ますみ		学 位	準学士 学士（教養）		
担当授業 科 目	音楽実習Ⅰ，音楽実習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	保育者・教員養成におけるピアノ初心者の「弾き歌い」指導法の 実践と課題ー音楽リテラシー育 成のためにー	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第4号	2019年1月	共著	
	論文	鍵盤楽器と歌唱指導における動 画教材の活用の試みー遠隔講義 と自主学習での取り組みを通し てー	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第6号	2021年1月	共著	
	論文	領域「表現」と小学校音楽科にお ける教師の指導技術向上に関す る一考察ー動画の活用を通して ー	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第7号	2022年1月	共著	
	論文	「音楽実習Ⅰ・Ⅱ」の授業改善に 関する一考察ー幼稚園実習での 音楽表現活動の実践例を通して ー	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第8号	2023年1月	共著	
	講座・演奏 活動他	ピアノデュオリサイタル、 クラシック音楽講座 他	江別市野幌公民館 他	2019年4月 2019年5月 2020年6月 他	共同 単独	演奏とお話し

氏 名	川島 沙耶		学 位	教育学士 修士 (教育学)		
担当授業 科 目	声楽基礎演習Ⅰ, 声楽基礎演習Ⅱ, 声楽表現演習Ⅰ, 声楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	声楽eラーニング実践研究 ～声楽オンライン授業における 新たな展開分析～	北翔大学短期大学部研究 紀要 第59号	2021年3月	共著	

氏 名	河本 洋一		学 位	教育学修士		
担当授業 科 目	音楽科教育法Ⅲ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	『ヒューマンビートボックス』	素粒社	2024 年度 発行予定	単著	
	論文	日本語歌唱を語る観点について の一考察その2 ～林光のオペ ラ「あまんじゃくとうりこひめ」 にみる記譜上の工夫と歌われる 日本語	札幌国際大学紀要 48 号	2017 年	単著	
	論文	日本におけるヒューマンビート ボックスの概念形成～世界的な 潮流と日本人ビートボクサー “Afra” との関わりから～（査 読付）	音楽表現学 第17 巻	2019 年	単著	
	論文	日本におけるヒューマンビート ボックスの概念形成（2）－ YouTube の普及による変化と今 後の展望－（査読付）	音楽表現学 Vol. 19	2021 年	単著	
	発表	学校教育におけるヒューマンビ ートボックスやヴォイパ導入の 意義と効果	日本音楽表現学会 第19 回大会（Zoom）	2021 年	単独	

氏 名	木下 教子		学 位	学位（教育学）		
担当授業科目	家庭科概論， 家庭科指導法， 家庭科指導法Ⅲ， 栄養学（食品学を含む）					
業 績 （最大5点まで）	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	学術論文	北海道の行事食・儀礼食の特徴 および親子間における伝承（査読付）	日本調理科学会誌 第47巻1号	2014年4月	共著	31-41 頁
	学術論文	大学生における食生活改善のための食事メニュー提供による実践研究	北翔大学「人間福祉研究」 第18号	2015年3月	共著	67-79頁
	学術論文	大学生の住生活状況と満足度について	北翔大学 教育文化学部 研究紀要 第3号	2018年1月	共著	93-107頁
	著書	伝え継ぐ日本の家庭料理 魚のおかずいわし・さばなど	企画・編集 日本調理科学会 発行一般社団法人農山漁村文化協会	2019年11月	共著	55 頁
	学術論文	米の摂取状況と米に対する意識調査	北翔大学短期大学部研究 紀要 第57号	2019年3月	単著	16-24 頁

氏 名	金 誠		学 位	博士（学術）		
担当授業 科 目	スポーツ史					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	総力戦体制における人的資源としての朝鮮民衆：スポーツの否定と兵的動員の正当化へ	民衆史研究 第98号	2020年2月	単著	
	著書	スポーツの世界史	一色出版	2018年9月	共著	
	著書	近代日本・朝鮮とスポーツ：支配と抵抗、そして協力へ	塙書房	2017年12月	単著	
	論文	リットン調査団と満洲国建国記念連合大運動会：関東軍による宣伝・宣撫工作としてのスポーツ	札幌大学総合論叢 第44号	2017年10月	単著	
	論文	スポーツにみる植民地権力とナショナリズムの相克：第11回オリンピック競技大会（ベルリン）の金メダリスト孫基禎を中心に	現代韓国朝鮮研究 第16号	2016年11月	単著	

氏 名	熊田 広樹		学 位	学士（外国研究） 修士（言語学）		
担当授業 科 目	保育内容（言葉）					
業 績 （最大5点まで）	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	標準言語聴覚障害学 言語発達 障害学 第3版	医学書院	2021 年 3 月	共著	第 4 章第 2 節 「環境調整」担 当
	著書	特別の支援を必要とする子ども の理解—共に育つ保育を目指し て—	ナカニシヤ出版	2018 年 10 月	共著	第 1 章第 5 節 「言語障害の ある子ども」 第 3 章第 3 節 「児童発達支 援センターの 役割・連携」 第 5 章第 1 節 「乳幼児健康 診査・就学時健 康診断」担当
	論文	発達相談と遊び 言語聴覚士の 視点	小児リハビリテーション vol. 8	2020 年 12 月	単著	
	論文	「言葉に対する感覚」に焦点を 当てた保育者養成短期大学にお ける授業実践—保育内容演習 （言葉）における取り組み—	旭川大学短期大学部紀要 第 48 号	2018 年 3 月	単著	
	論文	軽度知的障がい疑われた中学 生に対する漢字指導の経過	旭川大学短期大学部紀要 第 47 号	2017 年 3 月	単著	

氏 名	小泉 真希		学 位	学士 (スポーツ教育学)		
担当授業 科 目	野外教育実習					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	書籍	認知症予防・介護予防のための 運動教室指導案集	特定非営利活動法人ソー シャルビジネス推進セン ター	2019年8月	共著	指導案の発案 担当
	その他	地域まるごと元気アッププログ ラム 運動指導・教室主担当		2019年1月～ 現在に至る		
	その他	地域高齢者体力測定会 運営責 任者		2021年8月 2022年8月		

氏 名	小山 誠南		学 位	修士（教育学）		
担当授業 科 目	教育原理					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	セバスティアン・カステリオン における寛容と良心 —『疑うすべについて』を手掛 かりとして—	日本の教育史学 第64 巻	2021 年 10 月	単著	48-60 頁
	論文	セバスティアン・カステリオン と『ドイツ神学』 —完成可能性と再生—	プロテウス 第21 号	2022 年 3 月	単著	39-71 頁
	論文	カステリオン訳仏語聖書の語彙 分析 —寛容の多様性—	北海道大学大学院教育学 研究院紀要 第141 号	2022 年 12 月	単著	43-66 頁
	論文	道徳教育における自由 —概念史および戦後道徳教育史 の視角から—	大谷大学初等教育学会研 究紀要 第5 号	2023 年 3 月	共著	担当執筆掲載 頁：43-45、48- 50、53-54、59- 62 頁
	論文	道徳教育における平等 —概念史および戦後道徳教育史 の視角から—	大谷大学初等教育学会研 究紀要 第6 号	2024 年 3 月	共著	担当執筆掲載 頁：51-58 頁

氏 名	小山 尋明		学 位	体育学士		
担当授業科目	生涯スポーツ指導演習（武道）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	大学生のための健康科学 [増訂版]	三和書房	2023 年 4 月	共著	
	論文	道都大学生の体力・運動機能力調査	道都大学紀要共通教育部 第2号	2008 年 3 月	共著	

氏 名	近藤 雄一郎		学 位	学士 (生涯教育学) 修士 (教育学) 博士 (教育学)		
担当授業 科 目	体育原理					
業 績 (最大 5 点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	アルペンスキー競技における技術戦術指導—初級者及び中級者を対象とした実証的研究—	中西出版	2013 年 9 月	単著	
	論文	新型コロナウイルスの影響による臨時休校期間中における体育の家庭学習に関する研究：F 県 S 市の小学校及び中学校を対象として	北陸スポーツ・体育学研究 第 3 号	2022 年 3 月	共著	「研究の立案・総括、執筆責任者」担当
	論文	運動部活動の地域移行についての議論に関する一考察	福井大学教育・人文社会系 部門紀要 第 7 号	2023 年 1 月	共著	「研究の立案・総括、執筆責任者」担当
	論文	「スポーツをつくる」に向けた体育の授業づくりの視点：運動文化論的観点からの検討	福井大学教育・人文社会系 部門紀要 第 8 号	2024 年 3 月	共著	「研究の立案・総括、執筆責任者」担当
	著書	新版 スポーツの主人公を育てる体育・保健の授業づくり—指導案の基本とプラン集—	創文企画	2024 年 3 月	共著	第 1 部第 1 章 8、第 2 章 3、第 2 部第 2 章 9 を執筆

氏 名	作田 文子		学 位	準学士		
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習（体づくり運動）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	その他	「運動あそびやらなきヤソン！」	一般社団法人子どもづくり協会	2023 年 3 月	単独	幼少年の保護 者向け冊子
	その他	「運動ができる子どもに育てる 幼児期の体づくり」	一般社団法人子ども体づ くり協会	2021 年 12 月	単独	幼児の体づく りについてま とめた冊子
	研究発表	「発達が気になる子の運動と 知識」	運動指導者向けに自主開 催発表	2017 年 3 月	共同	
	論文	子どもが楽しみながら意欲的に 取り組む「体づくり運動」の事例	北翔大学北方圏生涯スポ ーツ研究センター年報第 10 号	2020 年 3 月	共著	
	研究発表	幼少期の体づくり	一般社団法人子ども体づ くり協会 子ども体づく りテキスト	2020 年 7 月	共同	

氏 名	笹木 美幸		学 位	修士（教育学・発達脳科学）		
担当授業科目	肢体不自由者の心理・生理・病理					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	事例発表	自閉症スペクトラム障害の感覚調整に着目した早期介入の一例	北海道作業療法学会	2012 年	共同	
	研究発表	乳幼児期における歩行獲得までの運動の発達変異と感覚調整	第30回感覚統合学会研究大会	2012 年	共同	
	事例発表	感覚面からの介入が離乳食のすすめ方に影響した事例」～赤ちゃんサロンの経験から～	第32回日本感覚統合学会研究大会	2014 年	共同	
	研究発表	運動発達遅滞と感覚偏倚を持つ乳幼児の特徴と社会性の発達の傾向	日本赤ちゃん学会	2015 年	単独	
	研究発表	乳幼児期における感覚調整障害と社会性の発達との関連性について	第50回日本作業療法士学会	2016 年	共同	

氏 名	佐藤 淳一		学 位	博士(音楽)		
担当授業 科 目	器楽基礎演習Ⅰ, 器楽基礎演習Ⅱ, 器楽表現演習Ⅰ, 器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	研究論文『クロード・ドビュッシー《ラプソディ》を巡る諸問題に対する考察 -Elise Hall という淑女を讃えて-』	サクソフォニスト 第24号(日本サクソフオーン協会 発行)	2013 年 2 月	単著	31-89 頁
	演奏	リサイタル『佐藤淳一サクソフォン・リサイタル「ライブ・エレクトロニクス!」』	トーキョーワンダーサイト本郷	2013 年 3 月	単独	
	演奏	リサイタル『B→C 佐藤淳一 サクソフォン・リサイタル』	東京オペラシティ リサイタル・ホール	2015 年 3 月	単独	
	演奏	リサイタル『佐藤淳一 サクソフォン・リサイタル with ライブ・エレクトロニクス』	札幌コンサートホール Kitara 小ホール	2017 年 3 月	単独	
	演奏	リサイタル『佐藤淳一 サクソフォン・リサイタル フランス・エレクトロニクス音楽の周辺』	東京オペラシティ リサイタル・ホール	2019 年 12 月	単独	

氏 名	佐藤 至英		学 位	教育学修士		
担当授業科目	特別支援教育総論， 知的障害者の心理・生理・病理， 視覚・聴覚障害者の心理・生理・病理， 視覚・聴覚障害者の教育課程及び指導法					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	特別支援学校教師の精神的健康に関する現状	北翔大学大学院人間福祉学研究科臨床心理センター紀要 第7・8合併号 pp19-27.	2015年3月	共著	
	論文	自閉症スペクトラム障がい児の対人関係におけるフリー・オペラント技法の効果	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要, 6, pp43-50.	2015年3月	単著	
	論文	自閉症スペクトラム障がい児における「心の理論」の学習可能性	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要, 7, pp135-142.	2016年3月	単著	
	論文	聴覚障がい児はどのように文をつなげるのかー短作文課題における文脈形成についてー	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要, 8, pp47-59.	2017年3月	単著	
	論文	聴覚障がい児はどのように文をつなげるのか (2)ー短作文課題における文脈形成についてー	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要, 9, pp1-16.	2018年3月	単著	

氏 名	佐藤 亮平		学 位	学士（生涯学習学） 修士（生涯学習学） 博士（教育学）		
担当授業 科 目	保健体育科内容構成論					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	スポーツの主人公を育てる体 育・保健の授業づくりー指導案 の基本とプラン集ー	創文企画	2018 年 3 月	共著	第 2 章 2 節「子 どものつまづき とフィードバッ クについて」 (pp.48 - 51) を 担当
	論文	体育授業分析用アプリを用いた 教育実習指導に関する一考察 ー「Lesson Study Analyst for PE」活用の可能性 ー	宮城教育大学 情報活用能 力育成機構研究紀要 (1) : 9ー18	2021 年 3 月	共著	「結果」を担当
	論文	他者観察を用いた学習カード使 用の事例的研究 : 大学生を対 象としたバドミントンシング ルスゲームの学習について	北海道体育学研究 (55) : 41-52	2020 年 7 月	共著	「結果」を担当
	論文	体育授業におけるサッカー指導 の成果と課題ー2008 年から 2017 年の雑誌『体育科教育』の 実践に着目してー	宮城教育大学紀要 (55) : 219-225	2021 年 1 月	共著	「研究の立案・総 括、執筆責任者」 を担当
	論文	ベースボール型球技の競技構造 に関する一考察 : ソフトボ ールとティーボールを対象として	福井大学教育・人文社会系 部門紀要 (5), : 285-302	2021 年 1 月	共著	「考察」を担当

氏 名	澤田 悦子		学 位	学士		
担当授業 科 目	音楽実習Ⅰ，音楽実習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	保育者・小学校教諭を目指す人 のためのピアノ&弾き歌い童謡 ～豊かな音楽表現のために～	圭文社	2020年3月	共著	P.18、19、23、 27、28、58、60、 64、65、68、110、 111、129、134
	著書	読譜力とピアノ演奏技術が身に つく小学校教諭・幼稚園教諭・ 保育士のための引き歌い唱歌・ 童謡曲集	編著者 澤田悦子 日本音楽著作権協会許諾	2020年4月	単著	
	共著	保育者・教員養成におけるピア ノ初心者「弾き歌い」指導法の 実践と課題-音楽リテラシー育 成のために-	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第4号	2019年1月	共著	担当執筆掲載 頁:P.101-105、 114-116
	共著	鍵盤楽器と歌唱指導における動 画教材の活用の試み-遠隔講義 と自主学習での取り組みを通し て-	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第6号	2021年1月	共著	担当執筆掲載 頁:P.63-66、 71-73
	共著	療育「表現」と小学校音楽科にお ける教師の指導技術向上に関す る一考察-動画の活用を通して	北翔大学教育文化学部研 究紀要 第7号	2022年1月	共著	担当執筆掲載 頁:P.196-19、 206-207

氏 名	柴 勤		学 位	文学修士		
担当授業 科 目	美術史					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	異邦人のパリ	「エコール・ド・パリ」 展図録 第 16 回共同 巡回展実行委員会	2015 年 8 月	共著	巻頭論文 市町村立美術館活性化 事業
	研究発表	エコール・ド・パリの時代に マレヴナという画家がいた！	北海道立近代美術館 美術講座 2019	2019 年 7 月	単独	主催：北海道美術館協 力会、道立近代美術館、 道立三岸好太郎美術館
	研究発表	パリのカフェテラス 革命はカフェから始まる	北海道立近代美術館 美術講座 2022	2022 年 7 月	単独	主催：北海道美術館協 力会、道立近代美術館、 道立三岸好太郎美術館
	研究発表	カクテル都市 パリの狂宴	北海道立旭川美術館 講演会	2023 年 2 月	単独	「モダンの芸術」展関 連事業
	研究発表	世紀末パリ・モンマルトル キャバレー「シャ・ノワール」 をめぐる芸術と大衆文化	北海道立近代美術館 美術講座 2023	2023 年 6 月	単独	主催：北海道美術館協 力会、道立近代美術館、 道立三岸好太郎美術館

氏 名	柴田 啓介		学 位	学士 (法学) 修士 (教育学) 博士 (教育学)		
担当授業 科 目	生理学					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	Comparison in repetitions to failure between concentric-only and eccentric-only dumbbell arm curl exercise at four different relative intensities	Journal of Strength and Conditioning Research	2023 年 9 月	共著	
	論文	Comparison between two volume-matched squat exercises with and without momentary failure for changes in hormones, maximal voluntary isometric contraction strength and perceived muscle soreness	Journal of Strength and Conditioning Research	2021 年 11 月	共著	
	論文	Effects of prolonging eccentric phase-duration in parallel-back squat training to momentary failure on muscle cross sectional area, squat 1RM and performance tests in university soccer players.	Journal of Strength and Conditioning Research	2021 年 3 月	共著	
	著書	『筋肉研究最前線』	NTS 出版. 第 1 章第 5 節「伸張性筋活動による筋損傷とトレーニングへの応用」	2019 年 9 月	共著	
	報告書	筋肥大や筋力・パワー増強を目的としたレジスタンス運動が運動後の筋機能に及ぼす影響.	一般社団法人 ミズノスポーツ振興財団	2016 年 4 月	共著	

氏 名	澁谷 俊彦		学 位	準学士（専攻科修了）		
担当授業 科 目	グラフィックデザインⅡ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	Between Art and Nature 澁谷俊彦 作品集/アートと自然 のはざままで	株式会社グラフィック	2023 年	単著	
	著書	第 10 回若菜彩人「表現とテク ノロジー、現実の拡張形」ー拡張 現実とアートの関わり、現状 認識とその未来形の模索ー	The Lecture Report of Sapporo Art Labo (SALA) 2010. 4-2012. 3 サ ッポロアートラボ「サラ	2012 年	単著	
	論文	絵画の境界線をめぐるインスタ レーションの新展開」	北海道芸術論評第1号 北 海道芸術学会学会誌	2008 年 12 月	単著	
	その他	「札幌文化奨励賞」受賞		2014 年		
	その他	「北海道文化奨励賞」受賞		2017 年		

氏 名	島方 晴康		学 位	音楽学士		
担当授業科目	器楽基礎演習Ⅰ，器楽基礎演習Ⅱ，器楽表現演習Ⅰ，器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	指導歴	札幌大谷短期大学、後に大学、非常勤講師（ホルン、室内楽）		2003 年 4 月より		
	演奏歴	「室内楽のタベ」名寄市民文化センター		2018 年 1 月 21 日		金管五重奏とピアノ
	演奏歴	札幌啓明中学校 開校 70 周年記念吹奏楽部第 23 回定期演奏会		2017 年 10 月 8 日		ソロ演奏
	指導・演奏歴	ボスカンプ in 札幌（ホルンキャンプ）		2006 年ー2018 年		企画運営、指導と演奏
	演奏・企画運営	ホルンフェスティバル in 札幌		2013 年 9 月 22 日		企画運営と演奏

氏 名	清水 郁太郎		学 位	学士（教育学）		
担当授業 科 目	木材工芸					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	幼児の木材を使った制作について	札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部紀要 第47号 P101～106	2017年3月	単著	
	作品	音の出る野外彫刻「からから ころころ」	飛生アートコミュニティー 〈飛生芸術祭〉	2022年9/3～ 2023年9/11	単独	
	作品	カラクリ木製おもちゃ 「きつつきコール」「雪かきマン」 「ぱたぱたエナガ」「どんぐりコロコロ」 「ゆらころり-エゾクロテン」「ゆらころり-タン チョウ」	札幌芸術の森工芸館ベストポケット	2022年9/23～ 2023年3/26	単独	
	作品	自動演奏からくりチャイムを組み 込んだ大型木製ツリー	大丸札幌店1階吹き抜け	2023年11月29 日～12月26日	単独	
	作品	雪像彫刻「ふる」	さっぽろ雪まつり大通り 6丁目 アート広場	2024年2月4日 ～2月11日	単独	

氏 名	白子 正樹		学 位	音楽学士 Kuensliche Ausbildung (ドイツ国立ケルン音楽大学の音楽学士)		
担当授業 科 目	器楽基礎演習Ⅰ, 器楽基礎演習Ⅱ, 器楽表現演習Ⅰ, 器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	月刊誌連載	ワンポイントレッスン	音楽之友社・『バンドジャーナル』	2013年5月 ～2014年4月	単	
	自主演奏会	しらこ企画 クラリネットの室内楽		2017年12月		ふきのとうホールで開催
	自主演奏会	しらこ企画 室内楽シリーズⅡ		2019年8月		ふきのとうホールで開催
	自主演奏会	しらこ企画 室内楽シリーズⅢ 2人が最後に愛したクラリネット五重奏曲～モーツァルトとブラームス～		2022年3月		札幌コンサートホール kitara 小ホールで開催

氏 名	白戸 達也		学 位	学士 (生涯学習学)		
担当授業科目	器楽基礎演習Ⅰ, 器楽基礎演習Ⅱ, 器楽表現演習Ⅰ, 器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	大学における器楽教育 その3 ～打楽器のための楽曲研究～	北翔大学教育文化学部研究紀要 第6号	2021年1月	共著	

氏 名	新堀 聡子		学 位	学士 (音楽) ドイツ国家演奏家資格 (ピアノ)		
担当授業 科 目	ピアノ基礎演習Ⅰ, ピアノ基礎演習Ⅱ, ピアノ表現演習Ⅰ, ピアノ表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	アクティブラーニングの視点から捉えたピアノ学習：教育学科音楽コースにおける「連弾、2台ピアノ」の学習事例を通して	北翔大学教育文化学部研究紀要 第2号	2017年1月	共著	
	論文	室内楽におけるピアノ演奏に関する一考察 - アンサンブル学習の読譜について -	北翔大学教育文化学部研究紀要 第7号	2022年1月	共著	
	演奏	新堀聡子ピアノリサイタル	札幌ふきのとうホール	2021年6月	単独	札幌市民芸術祭奨励賞受賞
	演奏	新堀聡子ピアノリサイタル	札幌ふきのとうホール	2019年11月	単独	
	演奏	新堀聡子ピアノリサイタル	札幌ザ・ルーテルホール	2016年10月	単独	

氏 名	新明 史子		学 位	学士（芸術文化学） 修士（デザイン学） 学士（造形学）	
担当授業 科 目	色彩計画				
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別
	作品発表	札幌美術展 旅は目的地に着く までがおもしろい	札幌芸術の森美術館	207年4月	企画展
	作品発表	シミー書房個展	大丸藤井セントラル企画展	2018年3月	個展
	作品発表	シミー書房個展	パスキューアイランド	2020年から年に 1回開催	個展
	作品発表	シミー書房個展	ぽすとかん	2021年から年に 1回開催	個展

氏 名	菅原 克弘		学 位	教育学士		
担当授業 科 目	作曲法					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	CD	公民館の歌「自由の朝」(山口晋 一作詞、下總皖一作曲) 混声合唱 と吹奏楽用の編曲作品	第40回全国公民館研究集 会東京大会記念CD	2018年11月		演奏:陣内麻友 美、小出あつ き、陣内直、中 原聡章、NMウイ ンドアンサン ブル
	編曲作品	「リュートのための古風な舞曲 とアリア 第三組曲」(O. レスピ ーギ作曲) サクソフォン8重奏 用	ティーダ出版	2016年8月	単独	
	編曲作品発表	『楽劇「ラインの黄金」より』(R. ワグナー作曲) 吹奏楽用	未出版	2018年8月 9月 12月		演奏:第63回 札幌地区吹奏 楽コンクール 金賞、北海道吹 奏楽コンクー ル銀賞受賞。/ 札幌吹奏楽団 第45回定期演 奏会。いずれも 札幌吹奏楽団 を指揮。
	編曲作品発表	HTB 開局50周年記念テーマソ ング「ハイタッチ」(Rihwa Ver.) 吹奏楽用	未出版 (HTB)	2019年1月 11月		演奏:札幌市消 防音楽隊 119 ニューイヤー コンサート 2019において Rihwa &札幌市 消防音楽隊を 指揮/札幌吹 奏楽団第46回 定期演奏会に て札幌吹奏楽 団を指揮
	編曲作品発表	バレエ音楽「シンデレラ」より 「Introduction ～ Waltz ～ Midnight～Amoroso」(S. プロコ フィエフ作曲) 吹奏楽用	未出版	2019年8月 9月 11月		演奏:第64回 札幌地区吹奏 楽コンクール 金賞、北海道吹 奏楽コンクー ル銀賞受賞/ 札幌吹奏楽団 第46回定期演 奏会にて全曲 演奏。いずれも 札幌吹奏楽団 を指揮。

氏 名	鈴木 佳代		学 位	準学士		
担当授業 科 目	音楽実習Ⅰ，音楽実習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	保育者・教員養成におけるピアノ初心者の「弾き歌い」指導法の実践と課題—音楽リテラシー育成のために—	北翔大学教育文化学部研究紀要 第4号	2019年1月	共著	pp. 101～116
	論文	初等教育音楽科の鑑賞における指導の一考察—ミュージカル鑑賞を通して—	北翔大学教育文化学部研究紀要 第5号	2020年1月	共著	pp. 89～98
	論文	鍵盤楽器と歌唱指導における動画教材の活用の試み—遠隔講義と自主学習での取り組みを通して—	北翔大学教育文化学部研究紀要 第6号	2021年1月	共著	pp. 63～73
	論文	領域「表現」と小学校音楽科における教師の指導技術向上に関する一考察—動画の活用を通して—	北翔大学教育文化学部研究紀要 第7号	2022年1月	共著	pp. 195～207
	論文	「音楽実習Ⅰ・Ⅱ」の授業改善に関する一考察—幼稚園実習での音楽表現活動の実践例を通して—	北翔大学教育文化学部研究紀要 第8号	2023年1月	共著	pp. 249～263

氏 名	相馬 和俊		学 位	教育学士		
担当授業科目	英語科概論, 英語科指導法					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	小学校英語教育の理論と実践	開隆堂出版	2024 年 1 月	共著	担当執筆掲載頁：pp213-226
	論文	小学校教員養成課程外国語（英語）における「英語科指導法」授業改善についての一考察	北翔大学教育文化学部研究紀要 第8号	2023 年 1 月	共著	
	論文	小学英語辞典（英和・和英辞典）の比較	北翔大学教育文化学部研究紀要 第7号	2022 年 1 月	共著	
	論文	小学校外国語科における児童によるルーブリック自己評価の有用性ー児童の意識調査からー	北翔大学教育文化学部研究紀要 第6号	2021 年 1 月	共著	
	著書	英語好きな子に育つたのしいお話 3 6 5	誠文堂新光社	2016 年 12 月	共著	担当執筆掲載頁：p62, p103, p212, p247

氏 名	多賀 健		学 位	修士（体育学）		
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習（サッカー）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	「健康とスポーツ ハンドブッ ク&ワークブック」改訂版	(有) Book House HD	2022 年 4 月	共著	※第1章「スポ ーツの存在」, 第2章「スポー ツと健康」,第5 章「スポーツを 安全に行うた めに」を執筆
	学術論文	中学生を対象としたサッカーに おける継続的なドリブルトレ ーニング がドリブル動作様式及 びゲームパフォーマンスに及ぼ す効果	体育学研究 第67 巻, pp. 273-296	2022 年	共著	
	学術論文	幼児を対象としたサッカーのド リブルスキル向上における技術 的変化	北海道体育学研究 第54 巻, pp. 31-41	2019 年	共著	
	学会発表	異なる年代及び習熟度における サッカーの シザースフェイン ト動作様式の違い	第35 回日本コーチング学 会	2024 年 3 月	単独	
	招待講演	体育教員による高専の物的・人 的資源を活かした取り組み	KOSEN フォーラム 高専のスポーツ工学と ヒューマンダイナミクス	2022 年 9 月		

氏 名	高橋 和明		学 位	修士（学校教育学）		
担当授業 科 目	病弱教育					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	学術論文	障害の重い子どもたちの授業を つくるために	日本肢体不自由児協会 肢体不自由教育29 特集 実 態把握に基づいた授業づくり	2017 年 3 月	単	担当執筆掲載 頁：pp. 2-3
	学術論文	情報アンテナ ④特別支援 新 学習指導要領を見据えて特別支 援学校の在り方について	北海道教育振興会 教育振興第493号	2017 年 11 月	単	担当執筆掲載 頁：P. 2
	教育実践 記録	周囲の人との関わりや意思疎通 に困難さを抱える生徒の指導	北海道拓北養護学校 平成29年度「自立活動実践 事例集」	2018年 3 月	共	担当執筆掲載 頁：p. 1
	教育実践 記録	随意運動が難しい生徒の I C T 機器を利用した教科指導につい て	北海道拓北養護学校 平成 30 年度「自立活動実 践事例集」	2019 年 3 月	共	担当執筆掲載 頁：p. 1
	教育実践 記録	いろいろな不安を抱えている児 童が安心して主体的に取り組む ことができるようになるために は	北海道拓北養護学校 平成 30 年度「自立活動実 践事例集」	2019 年 3 月	共	担当執筆掲載 頁：p. 1

氏 名	高屋敷 亨子		学 位			
担当授業 科 目	生涯スポーツ（水泳・水中運動）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	北翔大学水泳授業におけるスポーツ専攻学生の水泳能力と指導法	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要 第7号	2016年3月	共著	pp. 73-78
	指導歴	江別市主催「水中運動教室」講師（2003年～現在）				
	指導歴	NPO 北海道水中運動協会主催「水中運動指導員」養成講習会講師（2004年～現在）				
	指導歴	NPO 北海道水中運動協会の依頼で安平町、赤平市、利尻富士町、天塩町での水中運動教室、着衣泳教室講師（2010年～現在）				
	指導歴	ほのかスポーツクラブ水泳水中運動指導（2014年7月～現在）				

氏 名	田川 芳紀		学 位	教育学士		
担当授業科目	生涯スポーツ指導演習（陸上競技） ， 生徒指導論（進路指導を含む） ， 教育実習事前指導					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	北海道高等学校における水泳授業について考える	札幌大学文化学部紀要31	2015年3月	共著	

氏 名	滝澤 真毅		学 位	修士（教育学）		
担当授業 科 目	こども理解					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	子どもの育ちを支える発達心理学	朝倉書店	2013 年 1 月	共著	第9章「遊びの なかでの育ち」 担当
	著書	保育者論 [第3版]	北大路書房	2020 年 2 月	共著	第1章1節, 第 3章4節, 第5 章2-3節担当
	著書	子どもの姿から考える保育の心理学	アイ・ケイコーポレーション	2022 年 4 月	共著	第5章「認知の 発達」、第8章 「学びとは」担 当
	著書	保育内容 子どもと環境 基本 と実践事例 第三版	同文書院	2023 年 10 月	共著	第5章「保育者 の役割」、第13 章5節「天体」、 第17章「標識・ 文字に関わる 保育」担当

氏 名	多田 宏江		学 位	MA music performance 修士（生涯学習学）		
担当授業 科 目	器楽基礎演習Ⅰ，器楽基礎演習Ⅱ，器楽表現演習Ⅰ，器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究（1）	北翔大学生涯学習システム学部研究紀要 第13号	2013年3月	共著	pp.117～124
	論文	吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究（2）	北翔大学生涯学習システム学部研究紀要 第14号	2014年3月	共著	pp.59～72
	論文	吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究（3）	北翔大学生涯学習システム学部研究紀要 第14号	2014年3月	共著	pp.73～82
	論文	スクールバンド少年団活動の教育的意義と課題について		2020年3月	単著	修士論文

氏 名	戸澤 逸美		学 位	修士（芸術）		
担当授業 科 目	グラフィックデザインⅠ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	作品出品	2021 ILLUSTRATION AWARDS 「That day Iwent hunting」	APPLIED ARTS MEDIA(CA)	2021 年 3 月	単	Applied Arts Illustration Awards 受賞
	作品出品	熊印ロゴ（商標登録済）	特定非営利活動法人じ もっト	2022 年 12 月	単	
	作品出品	World Illustration Awards 2023 「Nocturne(招待状・粧・宴)」	ASSOCIATION of ILLUSTRATORS(UK)	2023 年 5 月	単	Longlist Shortlist選出
	作品出品	Cheltenham Illustration Awards 2023 「I mean, we’ re best friends, right?」	Pittville Press	2023 年 9 月	単	Emerging and Established部 門 入選 Wilson Museum(Chelte nham/UK)展示
	作品出品	Communication Arts Illustration Competition 「Bear Pretend」	Communication Arts	2024 年 1 月	単	AWARDS OF EXCELLENCE/優秀 賞受賞

氏 名	長尾 明也		学 位	教育学士		
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習（バレーボール）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	学校教育全体で進める体力向上の取組」一なわ跳び活動を通じて、健康で豊かな心とたくましい体をつくるA小学校の取組一	北翔大学短期大学部研究紀要 第54号	2015年3月	共著	担当執筆掲載頁：pp1-12
	講演会講師	日本小学生バレーボール連盟北海道ブロック講演会にて講師を勤め、小学生バレーボール指導者の資質の向上に貢献した。	日本小学生バレーボール連盟主催	2015年7月		
	研究報告	小学校低学年児童におけるジャンプ遊びプログラム作成	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報第7号	2017年3月	共著	担当執筆掲載頁：pp123-126
	研究報告	体育学習におけるアクティブ・ラーニングの視点を生かした授業研究	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報第8号	2018年3月	共著	担当執筆掲載頁：pp39-51
	研究報告	運動プログラム実践園における幼児の体力及び運動能力の向上に関する研究	北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報第9号	2019年3月	共著	担当執筆掲載頁：pp45-49

氏 名	永野 光一		学 位	芸術学士		
担当授業 科 目	ドローイングⅠ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	芸術の実践的表現方法に関する 研究 (2) 美術の表現方法／モチ ーフについての一考察 (2)	北翔大学生涯学習システ ム学部研究紀要 第14号	2014年3月	単著	
	受賞	第69回二紀展 文部科学大臣賞 受賞	一般社団法人 二紀会	2015年	単	
	受賞	第67回二紀展 宮本賞受賞	一般社団法人 二紀会	2013年	単	
	受賞	第43回二紀展 宮永賞受賞	一般社団法人 二紀会	1989年	単	

氏 名	中野 耕太郎		学 位	学士		
担当授業科目	器楽基礎演習Ⅰ，器楽基礎演習Ⅱ，器楽表現演習Ⅰ，器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	大学における器楽教育その2 トロンボーンのための楽曲研究	北翔大学教育文化学部研究紀要 第6号	2021年1月	共著	

氏 名	中村 恵		学 位	準学士		
担当授業 科 目	生涯スポーツ（水泳・水中運動）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	北翔大学水泳授業におけるスポーツ専攻学生の水泳能力と指導法	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要 第7号	2016年3月	共著	
	論文	水泳授業におけるスポーツ専攻学生の水泳経験と泳力に対する意識	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要 第8号	2017年3月	共著	

氏 名	中山 章		学 位	学士 (薬学) 修士 (薬学) 博士 (薬学)		
担当授業 科 目	薬理概論					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	学校保健室備え付け医薬品に関する調査 ～札幌市内小学校におけるアンケート調査から～	札幌学校薬剤師会雑誌 vol. 48	2013 年 3 月	単著	
	論文	札幌市立小・中・高等学校における健康教育に関するアンケート調査	札幌学校薬剤師会雑誌 vol. 49	2014 年 3 月	単著	
	論文	アクティブラーニングにおける学習効果の視覚化と教育改善への取り組み	ICT 活用教育方法研究 Vol. 17	2014 年 11 月	共著	
	論文	札幌学校薬剤師会における薬物乱用防止教育の取り組み ～危険ドラッグリーフレット作成及び教育実践～	札幌学校薬剤師会雑誌 vol. 50	2015 年 3 月	単著	
	論文	小学校における学校環境衛生教育の実践について	札幌学校薬剤師会雑誌 vol. 52	2017 年 3 月	単著	

氏 名	西塚 拓海		学 位	臨床心理学士 臨床心理学 (修士)		
担当授業 科 目	教育心理学					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	研究発表	潜在ランク理論を用いた自殺の リスク指標の検討	日本カウンセリング学会	2023 年 7 月	共著	
	研究発表	事業場環境を反映した専用スト レッサー尺度の活用とストレス チェックのあり方	日本カウンセリング学会	2021 年 8 月	共著	
	研究発表	高校生のメンタルヘル스에及ぼ す認知的感情制御方略の役割	日本教育心理学会	2021 年 8 月	共著	
	論文	むちや食いをを行っている者が有 する心理学的要因 メタアナリ シスによる検討	臨床心理学 第 15 巻 5 号	2015 年 9 月	共著	

氏 名	長谷川 由樹		学 位	学士（人文学）		
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習（ダンス）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	ヒップホップのリズムで踊るグループ創作ダンス	平成25年度実例表現・ダンス資料集	2014 年	共著	
	論文	交流を主体とした「現代的なリズムのダンス」の学習モデルについて	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要第7号	2016 年 3 月	共著	
	論文	「現代的なリズムのダンス」の指導について	北翔大学生涯スポーツ学部研究紀要第11号	2020 年 3 月	共著	

氏 名	八條 美奈子		学 位	修士（教育学）		
担当授業科目	器楽基礎演習Ⅰ，器楽基礎演習Ⅱ，器楽表現演習Ⅰ，器楽表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	演奏会	「八條美奈子フルートリサイタル」開催	実行委員会主催	2010年9月	単独	於：札幌ザ・ルーテルホール
	作品発表	作曲作品「Cheerful Morning!」	未出版	2013年10月	単独	演奏会「フルートレボリューション from 札幌 Vol.2」で初演
	論文	吹奏楽における表現活動の多様性に関する研究 (2) ～フルート四重奏曲の作曲を通して～	北翔大学生涯学習システム学部研究紀要 第14号	2014年3月	共著	担当執筆掲載頁：pp. 59～72
	研究発表	「フルート音楽の新たな可能性を求めて」	北海道芸術学会	2016年11月	単独	フルート五重奏による実演付き発表
	演奏会	「第1459回札幌市民劇場 八條美奈子フルートリサイタル～フルートの旅」開催	札幌市民芸術祭実行委員会他主催	2019年9月	単独	於：Kitara小ホール

氏 名	平野 雅子		学 位	準学士		
担当授業科目	ピアノ基礎演習Ⅰ，ピアノ基礎演習Ⅱ，ピアノ表現演習Ⅰ，ピアノ表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	ピアノ連弾教材に関する一考察—G. フォーレ『組曲ドリー Op. 56』を題材に—	北翔大学短期大学部研究紀要 第 59 号	2021 年 3 月	共著	担当執筆掲載頁：pp. 83-94
	演奏	第 1357 回札幌市民劇場 平野雅子ピアノリサイタル	札幌ザ・ルーテルホール	2015 年 9 月	単独	札幌市民芸術祭奨励賞受賞
	演奏	いこまチェンバーアンサンブル 札幌公演・大阪公演	札幌ザ・ルーテルホール 大阪府・摂津響 Saal	2022 年 9 月 2022 年 12 月	共同	ゲストピアニスト
	演奏	札幌音楽家協議会「コンチェルト・ダ・サローネ」	札幌ザ・ルーテルホール	2023 年 12 月	共同	
	演奏	日本ショパン協会北海道支部創立 50 周年記念コンサート「Chopin に魅せられて」	札幌ザ・ルーテルホール	2024 年 1 月	共同	

氏 名	福井 一之		学 位	教育学士		
担当授業科目	病弱者の心理・生理・病理					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	病気や障害をもった子どもの教育制度	看護テキスト Nice 小児看護学Ⅰ総論（改訂第4版） 南江堂	2022 年 1 月	共	第Ⅱ章4「子供の教育と制度」
	著書	自立活動教諭の導入を振り返って	「レッツ特別支援教育」 ジアース教育新社	2013 年 4 月	共	担当執筆掲載 頁 p4～p5
	著書	居住地校交流の実践から小学校に転校することとなった事例	「季刊 特別支援教育」 文部科学省	2015 年 6 月	共	担当執筆掲載 頁 p20～p23

氏 名	栢谷 隆男		学 位	芸術学士		
担当授業 科 目	音楽科教育法Ⅳ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	著書	伝統音楽－アイヌ音楽	音楽之友社・ON！2 指 導の手引き	2023 年	共著	
	論文	生涯学習につながる音楽鑑賞教 育の実践と課題－「音楽」が伝え られることは何か	北海道高等学校教育研究 会研究紀要 第51 号	2014 年3 月	単著	
	連載	音楽授業でのリコーダーを考え る 木管リコーダーが育む豊かな 「心」1～4	歌う！奏でる！プロジェ クト・季刊リコーダー第 12 号～第15 号	2014～2015 年	単著	2014. 7, 2014. 1 0, 2015. 1, 2015 . 4
	連載	リコーダーよもやま話 1～ 46	歌う！奏でる！プロジェ クト・季刊リコーダー第3 号～第48 号	2012 年4 月～ 2023 年11 月	単著	
	論文	学習意識を高める授業の「つか み」－授業の導入「はじめに」の 活用－	札幌学院大学・教師教育研 究 第38 号	2024 年2 月	単著	

氏 名	松本 裕也		学 位	学士 (スポーツ教育学) 修士 (スポーツ科学)		
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習(器械運動)					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	鉄棒における〈後方浮支持回転〉 の肩回転加速技術の学習方法に 関する研究	北翔大学北方圏生涯スポ ーツ研究センター年報 第8号	2018年3月	共著	
	研究発表	体操競技におけるつり輪の〈水平 支持〉に関する発生運動学的的一考 察	日本体育・スポーツ・健康 学会	2023年8月	共著	

氏 名	三上 裕司		学 位	学士（経済学）		
担当授業 科 目	生涯スポーツ（バドミントン）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	その他	「公認バドミントンコーチ1・2 の資格更新のための更新研修 会」講師	—	2022 年 8 月	—	
	その他	北海道バドミントン協会主催 「ジュニア研修会」講師	—	2022 年 8 月	—	
	その他	明日のアスリート研究所「#11 多 種目スポーツ・大工体験ラボ」バ ドミントン講師	—	2022 年 4 月	—	
	その他	共和町主催「共和町スポーツ教 室バドミントン教室」講師	—	2021 年 12 月	—	
	その他	興部町教育委員会主催「スポー ツ指導者養成講習会」講師	—	2021 年 12 月	—	

氏 名	皆川 悦子		学 位	教育学修士		
担当授業 科 目	肢体不自由者の心理・生理・病理					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	学術論文	特別支援学校における摂食指導	社会福祉法人日本肢体不 自由児協会・肢体不自由教 育	2020 年 5 月	単	日本肢体不 自由教育研究会 機関紙 245 号 p20-23
	研究発表	食べる意欲に課題がある子ども の中長期的経過とそのアプロ ーチについて	第 29 回日本摂食嚥下リハ ビリテーション学会学術 大会	2023 年 9 月	共 (筆頭演者)	
	研究発表	肢体不自由児者の表出促進を目 指した長期的取組	第 58 回日本発達障害学会 学術大会	2023 年 11 月	共 (筆頭演者)	
	研究発表	北海道特別支援学校教員への摂 食に関する研修会について	第 28 回日本摂食嚥下リハ ビリテーション学会学術 大会	2022 年 9 月	共 (筆頭演者)	
	研究発表	肢体不自由者の表出行動の促進 に向けた取組について	第 57 回日本発達障害学会 学術大会	2022 年 12 月	共 (筆頭演者)	

氏 名	蓑島 崇		学 位			
担当授業 科 目	生涯スポーツ指導演習（武道）					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	指導資料	武道指導のためのリーフレット 「武道授業の充実に向けて」	北海道教育委員会	平成24年8月	単	
	指導資料	柔道授業のための指導資料「安 全で効果的な柔道授業に向け て」	北海道教育委員会	平成25年5月	単	

氏 名	森 浩之		学 位	教育学士		
担当授業 科 目	教育実習事前指導					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	研究発表	指導と評価の一体化を図った保健の学習評価の在り方に関する調査研究	北海道・東北高等学校体育学科・コース連絡協議会	2016 年 6 月	共	
	研究発表	観点別評価法による体育授業の在り方に関する調査研究	北海道・東北高等学校体育学科・コース連絡協議会	2017 年 10 月	共	
	研究発表	主体的対話的で深い学びの視点を取り入れた体育授業	胆振管内高等学校保健体育研究会	2018 年 10 月	共	
	研究発表	ICT を活用した保健学習の研究	胆振管内高等学校保健体育研究会	2019 年 10 月	共	

氏 名	八子 直子		学 位	教育学士		
担当授業 科 目	絵画Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	その他	2+2 北海道・光州美術交流展	2+2 北海道・光州美術交 流展 2 0 1 8 実行委員会 図録	2018 年	共著	
	その他	第 29 回道銀芸術文化奨励賞受賞記念 八子直子展一回顧述ー	記念個展リーフレット (道銀文化財団)	2020 年	単著	
	その他	八子直子展「雲のフリル」	Gallery レタラ ステイトメントレポート	2022 年	単著	
	その他	Flying Seeds	スウェーデヌプサラ大 ステイトメントトークレ ポート	2022 年	共著	
	その他	全南谷城 北海道国際交流展	全南谷城 北海道国際交流展図録	2023 年	共著	

氏 名	山崎 正明		学 位	修士 (教育学)		
担当授業科目	幼児と環境, 保育内容(環境), 美術科教育法Ⅰ, 美術科教育法Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	著書	中学校美術×ICT	明治図書	2024 年 3 月	共著	
	著書	中学校 美術の授業がもっとうまくなる 50 の技	明治図書	2019 年 10 月	単著	
	著書	令和 7 年度版 中学校美術教科書「美術 1」「美術 2、3 上」「美術 2、3 下」	光村図書出版	2024 年 3 月	共著	編集委員
	論文	「保育内容 (環境)」における「自然との関わり・生命尊重」に関する講義のあり方	北翔大学教育文化学部研究紀要 第 3 号	2018 年 1 月	単著	
	論文	「幼児が自然と関わりを通して学ぶ」ことについての教員養成課程の講義のあり方	北翔大学教育文化学部研究紀要 第 2 号	2017 年 1 月	単著	

氏 名	山田 萌果	学 位	短期大学士（美術） 文学士 修士（文学） 博士（文学）			
担当授業 科 目	美学					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	発表	「日本現代芸術における「少女」のアブジェクト——フェミニズムアートとしての可能性とその越境——」	イメージ&ジェンダー研究会	2019年7月	単独	
	展覧会評	「絡み合う糸のゆくえと皮膚の記憶—「塩田千春展：魂がふるえる」評」、『北海道芸術論評(12)』、19-27頁。	北海道芸術学会 北海道芸術論評 12号	2020年3月	単著	担当執筆掲載 頁：pp. 19-27.
	博士論文	「アブジェクトとしての少女——現代日本の少女表象へフェミニズム美学からのアプローチ——」	北海学園大学	2023年3月	単著	
	発表	「現代日本美術における少女のアブジェクト ——澁澤龍彦「少女コレクション序説」に着目して——」	第74回美学会全国大会	2023年10月	単独	

氏 名	吉泉 善太		学 位	学士（音楽教育ピアノ専攻） ドイツ国家演奏家資格（ピアノ専攻）		
担当授業 科 目	ピアノ基礎演習Ⅰ，ピアノ基礎演習Ⅱ，ピアノ表現演習Ⅰ，ピアノ表現演習Ⅱ					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共著の別	備考
	論文	コンコーネ 50 番 Op. 9ーピアノ伴奏学習教材としての有益性について	北翔大学教育文化学部研究紀要 第 6 号	2021 年 1 月	共著	pp. 41-52
	演奏会	ピアノリサイタル（バッハ、メンデルスゾーン、シューマンによるプログラム）	札幌ふきのとうホール	2018 年 9 月		
	演奏会	室内楽コンサート（ヘンデル・ハイドン、リスト、フランクによるプログラム）	札幌ふきのとうホール	2019 年 8 月		
	演奏会	ピアノリサイタル（ハ長調集めました！モーツァルト、ベートーヴェン、シューマンの作品を演奏）	札幌ふきのとうホール	2023 年 8 月		

氏 名	吉田 耕一郎		学 位	教育学士 教育学修士		
担当授業 科 目	こども理解					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	幼稚園間の学び合いの検証	北見地方私立幼稚園連合 会研究集録 第27号	2016年7月	単著	
	研究発表	認定こども園移行に伴う様々な 取り組みを探るⅠ	日本保育学会	2017年5月	単独	
	研究発表	未満児の発達に沿った保育援助	幼児教育実践学会	2018年8月	単独	
	研究発表	研究者との協働を活かした園内 研究(1)遊びの場の実態把握と アセスメントシートの作成	日本保育学会	2019年5月	単独	
	研究発表	主体的・対話的で深い学びを目 指して	幼児教育実践学会	2019年8月	単独	

氏 名	吉田 聡美		学 位	学士（人間学） 修士（人間学）		
担当授業 科 目	スポーツ心理学					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	研究発表	Examination of Rapid Correction of Weightlifting Techniques using Old Way/New Way Focused on the Stability of Correction and Psychological Chang	アジア南太平洋スポーツ 心理学会	2014 年 8 月	共著	
	著書	スポーツメンタルトレーニング 教本	日本スポーツ心理学会編	2016 年 12 月	共著	5 章コラム 7 章 6 担当
	研究発表	新旧対処法による社会人選手の 動作修正の試みー習慣化動作の 修正に着目してー	日本スポーツ心理学会	2017 年 11 月	共著	
	著書	基礎から学ぶスポーツ心理学 改	中西出版	2020 年 4 月	共著	6 章 7 章 10 章 13 章 14 - 3 章, キーワード担 当
	研究発表	Old way / new way development and athlete's autonomous learning in sports competitions: Possibility of fusion of old/way new way and self regulated learning	2020 横浜スポーツ学術会 議	2020 年 9 月	共著	

氏 名	吉田 繁		学 位	学士 (保健衛生学) 修士 (医科学) 博士 (医科学)		
担当授業 科 目	微生物学 (免疫学を含む)					
業 績 (最大5点まで)	著書・論文 等の別	タイトル	出版社・冊子名	発表・発行年月	単・共 著の別	備考
	論文	Trends in transmitted drug-resistant HIV-1 and demographic characteristics of newly diagnosed patients: nationwide surveillance from 2003 to 2008 in Japan.	Antiviral Res	2010 年 1 月	共著	
	論文	Sensitive assay for quantification of hepatitis B virus mutants by use of a minor groove binder probe and peptide nucleic acids.	J Clin Microbiol	2010 年 12 月	共著	
	論文	Involvement of an NKG2D ligand H60c in epidermal dendritic T cell mediated wound repair.	J Immunol	2012 年 4 月	共著	
	論文	NKG2D Triggers Cytotoxicity in Murine Epidermal gammadelta T Cells via PI3K-Dependent, Syk/ZAP70-Independent Signaling Pathway.	J Invest Dermatol	2014 年 2 月	共著	
	論文	Japanese external quality assessment program to standardize HIV-1 drug-resistance testing (JEQS2010 program) using <i>in vitro</i> transcribed RNA as reference material.	AIDS Res Hum Retroviruses	2015 年 3 月	共著	